

滋賀県議会だより



No.111

編集・発行／滋賀県議会

2月定例会議の概要

2月14日～3月18日の33日間

2月定例会議では、新型コロナウイルス感染症への対応に係る経費など総額6,440億3,000万円を計上する「令和4年度滋賀県一般会計予算」や本県独自のコロナ対策重点措置として事業継続支援金の支給および感染回避のために自宅を離れてホテルなどに宿泊しようとする方への支援に要する経費23億6,470万円を追加する「令和3年度滋賀県一般会計補正予算(第14号)」など、知事提出議案77件と議員提出議案10件が上程されました。

令和4年度当初予算以外の議案等については、各委員会において、本会議で付託された所管事項について審議等を行いました。

また、令和4年度当初予算については、総合的に審査するため、委員

40人で構成する予算特別委員会が設置され、3日間にわたり質疑を行い、さらに分科会調査を2日間実施した上で、可決しました。

なお、この当初予算の執行に関する附帯決議案が予算特別委員会で可決され、本会議で委員長から報告されました(概要は裏面のとおりです)。

これらの審議の結果、意見書案2件を否決したほか、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

●議員提案による政策条例案を可決

地方創生・国スポ・障スポ大会対策特別委員会において検討を進めてきたピワイチ推進条例案が提出され、賛成多数で可決しました。

また、教育改革・ICT推進対策特別委員会において検討を進めてきた滋賀県生きる力を育むための学校教育の情報化の推進に関する条例案が提出され、賛成多数で可決しました。

条例の概要については、裏面に記載しています。



行財政

問 新年度予算に対する知事の思いを伺います。

答 まずは、新型コロナウイルス感染症対策に引き続き万全を期してまいります。併せて、子どもを施策の中心に見据えて施策を進めてまいります。このことを念頭に置きながら、一つ目はひとの健康、二つ目は社会・経済の健康、そして三つ目に自然の健康における各施策を構築し、同時にこれらを貫く「ひとづくり」「DXの推進」「よりよき自治の追求」に力を入れて取り組んでまいります。

こうした取組を通じて、誰もが犠牲にならない社会、お金やモノの豊かさだけでなく、価値や意味に重きを置く社会、「よりよき自治」を求め、七世代先まで考えて行動する「良き祖先」になろうとする社会を志向し、「人」「社会・経済」「自然」の全ての面で充足した本場の意味での「健康しが」を作っていく、との思いを込めました。

基本構想実施計画の第一期の最終年度という節目の年であり、基本構想に掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

医療・感染症対策

問 新型コロナウイルス感染症における第6波の特徴を踏まえ、医療提供体制をどのように整えているのか伺います。

答 第6波は、重症者の割合が低下しているものの、感染者数の大幅な増加が認められています。こうした特徴を踏まえ、中等症・重症患者数の増加に備えた入院体制の維持や自宅療養者への治療体制等の整備の観点から対応を進めてきたところです。

入院体制については、中等症・重症の患者を主な入院対象とするなど、医療資源の更なる重点化を図るとともに、滋賀県安心ケアステーションの運用を開始し、必要な方が迅速に入院できる体制を整備しています。

また、高齢者施設等での施設内療養に対応するため、感染管理や搬送調整等を行う支援チームを組織し、感染が拡大している施設への個別支援を行っています。

自宅療養者への対応については、人員の増強等により、患者へ早期に初回の連絡ができるよう体制を整えているところであり、外来等の診療については、約300の医療機関、約350の薬局に協力いただき、1月末で197名に

経口治療薬の処方が行われるなど、適切に医療が受けられる体制を整備しているところです。宿泊療養施設の一層の活用を図るとともに、自宅療養者の症状悪化時には速やかに医療機関につなぐなど、引き続き、医療提供体制を維持できるよう取り組みます。



滋賀県安心ケアステーションの様子

産業振興

問 長引くコロナ禍の影響により、様々な業種で業績が悪化している状況ですが、滋賀の産業振興の方向性とそれに向けた今後の取組について伺います。

答 本県の経済は依然として厳しい状況であり、コロナ禍の影響が長引く観光関連産業への支援をはじめ、県内の中小企業等の支援体制の強化や資金繰り支援により、まずは県内事業者の事業継続にしっかりと取り組んでまいります。

また、社会の変革を的確に捉えながら、「滋賀のあすを拓く人づくりの推進」、「本県経済の持続的な発展につながる産業の

創出」、「滋賀ならではのツーリズム「シガリズム」の推進の3つの柱により、コロナ禍からの本格的な本県経済の回復に取り組んでまいります。

また、「人づくり」では、人生100年時代を見据え、誰もが活躍できる社会の構築に向け、しがジョブパークの機能強化、プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業の拡充等を図ります。

次に、「産業の創出」では、CO₂ネットゼロ等、社会的課題を解決するイノベーションの創出の加速化を図るとともに、滋賀県中小企業活性化推進条例施行後10年の節目を迎え、取組の総括・検証を行い、滋賀らしい次世代の中小企業の活性化の推進に向けた施策展開を検討するほか、市町と連携し、幅広い分野を視野に入れた企業立地を促進してまいります。

さらに、コロナ禍を経た新たな時代に対応する滋賀らしいツーリズム「シガリズム」の本格的展開を図ってまいります。

森林政策

問 県政150年の節目を迎えることを踏まえ、どのような「滋賀ならではの」全国植樹祭とするのか。

答 全国植樹祭の開催理念に「森―川―里―湖」のつながりがあるように、森林から流れ出る水は全ての根本であり、

また、それを契機とした県産木材の利活用目標と目標達成のための具体的な取組について伺います。

用語解説 ※1 「シガリズム」・・・琵琶湖をはじめとした自然と歩みをそろえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた、滋賀の時間の流れや暮らしを体感できる、「心のリズムを整える新たなツーリズム」の総称。

(裏面に続きます)



第72回全国植樹祭会場イメージ図

近江米を育む田や里を潤し、やがて豊かな恵みをたたえる琵琶湖に注ぎ、多くの動植物の生命や漁業を支えています。このように、滋賀の森林は、あらゆる命・暮らしの原点であり、それが第一次産業の土台となっています。

全国植樹祭の会場では、休憩所をはじめ様々な施設にびわ湖材のCLTを使用するなど、県産材の利用を積極的にPRし、森林資源の循環利用の大切さをアピールする大会を目指します。

また、県産木材の利活用については、県の整備する低層の公共建築物は原則木造化を図るとともに、民間の建築物についても県産木材の利用を促進してまいります。

具体的には、木造に特化した建築士を育成するほか、構想段階から木造化促進アドバイザーを派遣するなど、琵琶湖森林づくり基本計画において重点プロジェクトに位置付けた取組を今後数年間に集中して進め、県産木材の利用がより一層促進されるよう取り組んでまいります。

また、センター設置に併せて開始予定であった訪問による実態調査については、コロナ禍において2度延期していますが、感染状況を見ながらできるだけ早期に実施し、いまだ支援に繋がっていない方を必要な支援に繋げていくとともに、一人一人の気持ちに寄り添い、更にもような支援が必要なのかについても、一緒に考えてまいります。

県では、検討会議が取りまとめた今後の支援の方向性に基づき、令和2年6月に「滋賀県盲ろう者支援センター」を設置したほか、来年度は、通訳介助者の派遣時間を約2割拡充することで、社会参加をしっかりと支援したいと考えています。

また、センター設置に併せて開始予定であった訪問による実態調査については、コロナ禍において2度延期していますが、感染状況を見ながらできるだけ早期に実施し、いまだ支援に繋がっていない方を必要な支援に繋げていくとともに、一人一人の気持ちに寄り添い、更にもような支援が必要なのかについても、一緒に考えてまいります。

福祉政策

問 令和2年1月の滋賀県盲ろう者支援推進検討会議

において、盲ろう者支援の方向性が示されましたが、今後、支援をどのように進めていくのか伺います。

答

盲ろう者には、視覚と聴覚の両方の障害により、特にコロナ禍においては、意思疎通時に接触を伴うことから、大きな制約を受けておられると認識しています。

用語解説 ※2 「CLT」・・・Cross Laminated Timber の略で、板材を繊維の方向が層ごとに直角に交わるように重ねて接着したパネル建材。強度が高いため、高層の建物にも活用できる。

議会トピックス
2月定例会議で可決した議員提案条例の概要
●ビワイチ推進条例
●滋賀県生きる力を育むための学校教育の情報化の推進に関する条例
滋賀県議会議員の定数や選挙区等が決まりました
2月定例会議で「滋賀県議会議員の定数ならびに選挙区および各選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例」が改正され、滋賀県議員の定数は、現行どおり44人、選挙区も現行どおりとし、選挙区別定数は、右の図のとおり決まりました。

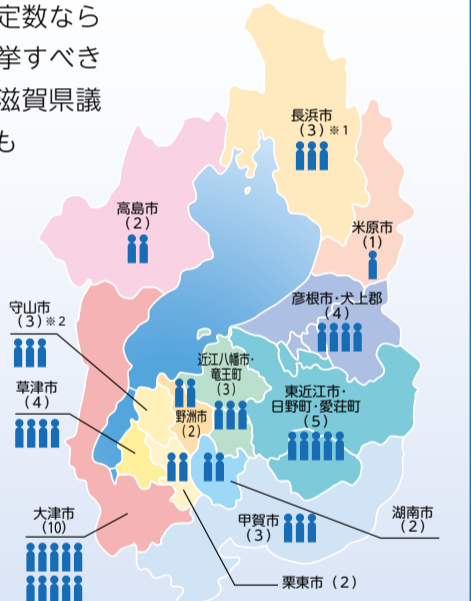


Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists various resolutions and budgets approved in the February meeting.

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Lists resolutions and opinions approved in the February meeting.

令和4年度予算に対する附帯決議の概要
「令和4年度滋賀県一般会計予算」のうち、びわ湖放送株式会社に2億円の出資を行う予算の執行に関して、テレビ放送の在り方検討の動きや同社の公益性、県の出資法人見直しの方針なども踏まえ、地方公共団体として、また、同社の筆頭株主としての関わり方について、同社の経営方針と企業戦略を視野に入れた短期的、中・長期的の方針を早急に示すことを知事に求めました。

議会からのお知らせ
●滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター)
本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。また、本会議の様子はライブ中継と録画配信をしています。

この印刷物は古紙パルプを配合しています